

子どもにとっての

『子どもの権利条約』ってなんだろう？

世界中のすべての子どもたちがもっている“権利”について定めた条約です。戦争に巻き込まれてしまったり、防げる病気で命を失ってしまったり、つらい仕事で一日が終わってしまったり…世界には厳しい暮らしをしている子どもたちがいます。

また、日本でも虐待やいじめ、不登校、さらに子どもの貧困やネット依存など深刻な問題が子どもたちの周りにあふれています。「子どもの権利条約」はそんな子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちの強い味方です。

子どもの人権連リーフレットより引用

1. 生きる権利



すべての子どもの命が守られること。

2. 育つ権利



もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援を受け、友達と遊んだりすること。

3. 守られる権利



暴力や搾取、有害な労働などから守られること。

4. 参加する権利



自由に意見を表したり、団体を作ったりできること。

参考：日本ユニセフ協会ホームページ / イラスト：©日本ユニセフ協会

じんけん 人権ってなに？

ついつい大人は・・・



- けがをしてほしくないから「〇〇しちゃだめ！」
- 嫌われてほしくないから「そんなこと言っちゃだめ！」って怒って言うときがあるな。
- 「まだ4歳だから…」と決めつけて親が先回りしてしまっていることが多いな。

子どもは
こんなことを
おもっているよ

- 最後まで話を聞いてほしい。
- 私のことを信じてほしい。
- 大人の価値観を押し付けないで、考えさせてほしい。
- 私に笑いかけてほしい。
- 「鬼がくるよ」「〇〇に言うよ」「もう知らん」など不安にさせないでほしい。



あなたならどんな子育てをしますか？

『子ども』

批判ばかりされた子どもは

非難することをおぼえる

殴られて大きくなった子どもは

力にたよることをおぼえる

笑いものにされた子どもは

ものを言わずにいることをおぼえる

皮肉にさらされた子どもは

にぶい良心のもちぬしとなる

しかし、

激励を受けた子どもは

自信をおぼえる

寛容に出会った子どもは

忍耐をおぼえる

賞賛を受けた子どもは

価値を見出すことをおぼえる

フェアを経験した子どもは

公正をおぼえる

友情を知る子どもは

親切をおぼえる

安心を経験した子どもは

信頼をおぼえる

可愛がられ、抱きしめられた子どもは

世界中の愛情を感じとることをおぼえる

「子どもが育つ魔法の言葉」
(トーマス・ルット)